

放課後等デイサービス評価表

○職員数:5人 ○回答数5人

事業所名:よつば・あえる

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 改善目標・工夫している点 |
|---------------------------------|---|--|----|---------------|-----|---|
| 環 境 ・ 体 制 整 備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 5 | | | 児童様一人当たりのスペースは、国が定める児童福祉施設の基準を満たしておりますが、テーブルの配置等に配慮しながら、児童様が安全に、かつ安心して過ごすことのできる環境づくりを今後も継続してまいります。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか | 5 | | | 国の定める基準を満たしておりますが、職員の異動や退職等で保護者様にご心配をおかけすることのないよう、今後も安心して児童様を預けられる施設を目指してまいります。 |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | | 5 | | 6センチほどの段差が施設内にあり、相談室に入る時やトイレ・事務室などへ行く時にその段差を上げる必要があります。そのため、完璧なバリアフリー化が施された環境ではありませんが、目立ちやすい黄色のテープなどを床に貼り、視覚的に注意を促しております。ただ、相談室から退室する際に、段差の存在を忘れがちになってしまうこともあるため、相談室内に「段差注意」の表示をし、退室者に対して、一言声を掛ける等の配慮を行ってまいります。 |
| 業 務 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか | 5 | | | 個別支援計画を作成する前に、指導員一人一人に計画の確認、振り返り、様子、目標設定、直近の長所や伸びしろなど記入してもらう「モニタリングチェックシート」の配布や、日々の活動日誌に児童様それぞれの個別目標を記載して、朝礼での共有や、終礼での振り返り等に活かしております。 |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等により、アンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 5 | | | 平成31年度に実施させていただいたアンケートを基に今後の業務改善に繋げていきます。 |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 5 | | | ホームページにて公開しております。 https://kurura.com/ |

放課後等デイサービス評価表

○職員数:5人 ○回答数5人

事業所名:よつば・あえる

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 改善目標・工夫している点 |
|----|----|---|----|---------------|-----|--|
| 改善 | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | 2 | 3 | | <p>困難事例の発生に伴い、適宜、発達障害者支援センターの外部評価や、保護者様の苦情・ご意見による運営適正化委員会の評価などを参考にさせていただきますが、困難事例の発生や、運営適正化委員会による指導・査察等は未だ無い為、行っておりません。定期的な物では、消防署の設備点検などを行っておりますが、今後は困難事例に限らず発達障害者支援センター等の評価による業務改善を行ってまいります。</p> |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 5 | | | <p>専門性の向上だけでなく、職員の福祉職としての意識向上の研修なども研修に取り入れ、施設内や社内など週に1回のペースで実施しております。外部の研修にも参加をし、放課後等デイサービス事業所同士での情報共有なども行っております。</p> |
| 適 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 5 | | | <p>契約児童様及び保護者様の日々の意見を参考に、個別支援計画を作成する前に、指導員一人一人に計画の確認、振り返り、様子、目標設定、直近の長所や伸びしろなど記入してもらい「モニタリングチェックシート」を記入し、個別支援計画を作成しております。</p> |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 5 | | | <p>契約時(施設利用開始時)に保護者様にご記入いただいたアセスメントシートや、モニタリング毎にご記入いただいているS-M社会生活能力検査などを活用しております。</p> |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 5 | | | <p>常に当事者意識を持って活動を立案し、個別支援計画や日々の契約児童様及び保護者様のニーズに沿った集団活動を提供できるように、月曜日の午前中などを活用し、連絡・共有・相談の時間としています。</p> |

放課後等デイサービス評価表

○職員数:5人 ○回答数5人

事業所名:よつば・あえる

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 改善目標・工夫している点 |
|--------------------------------------|----|--|----|---------------|-----|---|
| 切 な 支 援 の 提 供 | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 5 | | | 毎月、日ごとの行事予定表を作成し、ご自宅へ発送しております。また、契約児童様及び保護者様それぞれで異なる(社会性の向上以外を目的とした)要望・ニーズにも可能な限り対応ができるように、余暇の時間などを活用し、行事予定表には記載のない集団活動以外のプログラムも検討しております。 |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | 5 | | | ご家庭や学校での様子等を考慮し、行っています。平日は30分程度の集団活動を取り入れ、お約束(マナー)の周知や練習、土曜日や長期休暇に実践として工場見学や社会見学などの外出プログラムや調理の活動等を組み合わせています。基本的にはSSTや応用行動分析学などの考え方を活用し、個別支援計画の目標をいつでも確認できるように、日誌で共有しています。 |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか | 5 | | | 「集団活動の時間」と「個別活動の時間」それぞれ分けて設定したタイムスケジュールを、視覚的構造化を取り入れながら提示し、集団活動の中で達成しうる目標(物の貸し借りが出来る等)と、個別活動の中で達成しうる目標(服を畳んでリュックに入れる等)を、契約児童様及び保護者様の日々のご意見を参考に作成しています。 |
| 適 切 な 支 援 の 提 供 | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 5 | | | 朝礼時に、その日の活動担当が中心となって、活動の重点目標やタイムスケジュール、役割分担、職員の配置、特に必要とされる配慮に確認などを行っています。 |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 5 | | | 児童発達支援管理責任者がファシリテーターとなり、その日の出来事や事故・ヒヤリハットの確認や、発見した長所や抽出した伸びしろなどを共有しています。また、それぞれの職員の言動などについても振り返りを行っています。 |

放課後等デイサービス評価表

○職員数:5人 ○回答数5人

事業所名:よつば・あえる

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 改善目標・工夫している点 |
|--|----|--|----|---------------|-----|--|
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 5 | | | 日誌に、契約児童様それぞれの目標を記載し、目標に対する支援の進捗状況や、その日の契約児童様の様子等を記入しております。また保護者様からの療育に関する連絡事項などについては、日誌の連絡事項欄に記入しております。 |
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | 5 | | | 6ヶ月に1回モニタリングを実施し、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)の見直しをしています。 |

放課後等デイサービス評価表

○職員数:5人 ○回答数5人

事業所名:よつば・あえる

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 改善目標・工夫している点 |
|------------------|----|---|----|---------------|-----|--|
| 適切な 支援の 提供 | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか | 5 | | | <p>児童様の社会生活能力向上の為に、複数の目標を重層的に設定し支援を行っております。</p> <p>①自立支援と日常生活の充実のための活動 ・お買い物支援や、ランドセルロッカー内の整頓等、日常生活や社会生活を営むために必要な力を養う集団活動プログラムを取り入れています。また、住み慣れた地域で暮らすことを前提に、地場産業に注目し、集団活動のプログラムと組み合わせています。</p> <p>②創作活動 ・集団活動プログラムや余暇の時間を通して、創作活動を提供させていただく中で表現する喜びが体験できるように助言をしたり、児童様と一緒に創作活動を行う中で成功体験を増やしております。</p> <p>③地域交流の機会の提供 ・外出プログラムを取り入れています。 ・保育士取得を目指すボランティアの受け入れも行っております。</p> <p>④余暇の提供 ・児童様の興味付け、動機づけのきっかけとなるような絵本や図鑑を配置しております ・工作で利用できる材料や道具などを視覚的構造化を活用し、児童様に提示しています。 ・施設内は、走らずに歩いて移動するなどのお約束を提示し、落ち着いて過ごすことのできる空間づくりに配慮しています。</p> |
| | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に、その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 5 | | | 児童発達支援管理責任者が参加し、内容を指導員と共有しています。 |

放課後等デイサービス評価表

○職員数:5人 ○回答数5人

事業所名:よつば・あえる

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 改善目標・工夫している点 |
|-----------------------------------|----|--|----|---------------|-----|--|
| 関係 と機 連 携 保 護 者 | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか | 5 | | | 保護者様を通して日頃の連絡共有を図っており、下校時の引き渡しの際に、当日の様子等で気になった点等の報告を受け、また学校で遺失物などがあった際には、連携して対応しております。 |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | | | | 現在、放課後等デイサービスとして可能な医療的ケアの提供が求められる児童とは契約をしておりますが、かかりつけの医師や、服薬の指示を出している医師の連絡先をご家庭からいただいています。 |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | 2 | 2 | 1 | 就学前の様子等は保護者様や相談支援事業所などを通して、把握に努めております。 |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | 2 | 2 | 1 | 該当する児童様が1名在籍していましたが、在籍児童様及び保護者様からの情報提供に関する希望が無く、障害福祉サービス事業所からも情報提供の要望もなかったため、情報提供は行っておりません。元在籍児童様に関しては、学校卒業後も年賀状や悩み事の相談等で連絡を取り合っております。 |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 5 | | | 「発達障害者支援センターきらり」様による外部研修を有効に活用させて頂いております。 昨年6月に設置された「児童発達支援センターもも」様へのご挨拶も令和2年3月に検討しております。 |

放課後等デイサービス評価表

○職員数:5人 ○回答数5人

事業所名:よつば・あえる

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 改善目標・工夫している点 |
|----------------------------------|----|---|----|---------------|-----|---|
| 関係 と機 の関 連や 携保 護者 | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 2 | 1 | 2 | 放課後等デイサービスが、共生社会の実現に向けた後方支援を実践していく役割であることを踏まえた上で、積極的に対応させていただきます。近隣公園などで遊ぶ際に、同じ小学校のお友だち等も交えて鬼ごっこをしたりする場面はありますが、昨年度、児童館と交流できる活動を行った実績をもとに、インクルーシブ教育、インクルーシブ保育のメリット・デメリットを精査し、契約児童様及び保護者様のご意見を伺いたいと思います。 【令和2年4月アンケート配布予定】 |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか | 2 | | 3 | 自立支援協議会への参加は出来ていないのが現状ですが、静岡市のホームページから当該議事録をダウンロードし、内容の確認を行っております。令和2年度開催の協議会傍聴を検討しております。 |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 5 | | | 連絡帳を活用し、当日の活動プログラムの様子をお伝えしたり、ご自宅への送迎時に、抽出できた伸びしろへの対応やその日達成できた目標などを可能な限り保護者様にお伝えしております。 |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか | 5 | | | 行事予定表別紙に活動プログラムの目的やその手法を紹介した一文を記載し、ご家庭でも取り組みやすいプログラムとしてご案内させて頂いております。また、事業所内相談支援なども積極的に行い、施設に対するご要望も伺いながら、ご家庭との足並みをそろえる意味でも当施設での支援や児童様との関わりについてご紹介しております。 |
| | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 5 | | | ご契約の際に必ず契約保護者様に説明をさせて頂いております。また各種お問い合わせにつきましても、可能な限り詳しく説明を行っております。 |

放課後等デイサービス評価表

○職員数:5人 ○回答数5人

事業所名:よつば・あえる

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 改善目標・工夫している点 |
|------------|----|---|----|---------------|-----|---|
| 保護者への説明責任等 | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 5 | | | 個別支援計画見直しの場面だけでなく、日々のご自宅への送迎時に子育てに関する悩みが保護者様から聞かれた場合には、その場でお話が続けられる場合には即座にお応えし、夕食の調理中や児童様の様子によって、その場で直接お話をすることが適切ではないと判断される場合には、日を改めて回答をさせていただいたり、連絡帳に記入をするなどの対応をしております。 |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | 3 | 2 | | 株式会社TRWとして、当事者の親の会など数団体から依頼があった場合、職員を派遣してイベントの企画・開催・運営のお手伝いをしております。 今年度のよつば・あえるとしては、アンプティサッカーの選手たちをお招きして児童様と一緒にシュート練習やミニゲーム等を行った「第3回くるら祭」におきまして、保護者様に見学していただけるような環境を設定し、通知をさせていただきましたが、保護者様に広くご参加いただけたとは言えない見学者数であったため、契約保護者様同士の連携という面では不十分であると感じております。 日程調整や開催場所の設定など、広くご参加いただける工夫を今後も継続してまいります。 |
| 保護 | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 4 | | 1 | 契約時にご説明させて頂いている、苦情対応マニュアルに沿った対応を心掛けており、安全面や、人事異動などによる不安感を解消するべく、迅速に施設内全職員で会議を開いております。そうした会議で改善案を出し合い、保護者様と行政に併せてご報告させて頂くなどの対応をとっておりますが、契約児童様及び保護者様からいただくご意見やご要望などに対して迅速かつ適切に、また、誠実に対応できているとは申し上げ難く、福祉従事者として、組織として成長の余地を感じております。 |

放課後等デイサービス評価表

○職員数:5人 ○回答数5人

事業所名:よつば・あえる

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 改善目標・工夫している点 |
|--------------------------------------|----|---|----|---------------|-----|---|
| 者 へ の 説 明 責 任 等 | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 5 | | | 毎月10日に翌月の活動レクリエーションプログラム予定表と「あえるだより」を保護者様へ郵送させていただいております。また、定期的にホームページのブログを更新しています。 |
| | 35 | 個人情報に十分注意しているか | 5 | | | 個人情報保護法に留意しながら、今後も秘密保持の厳守の徹底をしていくと共に、職員の意識向上も図らせて頂きます。 |
| | 36 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 5 | | | 視覚障害や聴覚障害のある保護者様に対して、施設見学や施設利用契約などを行う際は、社内研修で確認した、静岡県が作成した「障害者差別解消法」の動画を活用し、適切なご案内に努めております。 また、契約児童様に対してはイラスト等を用いたコミュニケーションツールを活用しております。 |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | 4 | | 1 | 地域住民の方を施設内にお招きして、絵本の朗読ボランティアをお願いするなど、活動プログラムに取り入れておりますが、頻回とは申し上げ難く、来年度の課題としてどれくらいの頻度と規模で招待させて頂くのかも含めて検討させていただきます。 |
| 非 常 時 等 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | 5 | | | ご契約の際に各マニュアルの説明を随時、実施させていただきます。職員に対しても定期的に周知を徹底しております。 |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練をおこなっているか | 5 | | | 今年度は2回避難(防災)訓練を行っております。 来年度以降も防災に関する活動を取り入れ、緊張感のある避難訓練を行って参ります。 |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 5 | | | 静岡県主催の虐待防止研修に参加した職員が施設内職員に内容を共有しています。東京都社会福祉協議会が作成したアンケート等を職員に対して行い、風通しの良い施設づくりを目指しています。 |

放課後等デイサービス評価表

○職員数:5人 ○回答数5人

事業所名:よつば・あえる

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 改善目標・工夫している点 |
|----------------------------|----|---|----|---------------|-----|--|
| す の 対 応 | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | 5 | | | 虐待防止のための研修等を通じ、身体拘束を行うに足る要件である一時性、切迫性、非代替性について認識を深めております。また、強度行動障害を有するとされる児童様やその他の身体拘束を必要とする症状の児童様の利用は現時点でないため、個別支援計画にも明記はしていませんが、契約時に児童様及び契約保護者様もしくはそのいずれかにご説明をさせていただいております。ご説明の際の書類にしましては、他の障害児通所施設で使用されている文書を、あらかじめ許可を頂いた上で、他の障害児通所施設で使用されている文書の内容を取り入れております。 |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 5 | | | ご契約時のアセスメントにおいて、契約児童様のアレルギーお有無を確認しております。医師の診断者がある場合は、指示書に基づき対応をしております。 |
| 非 常 時 等 の 対 | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 5 | | | 事故やヒヤリハット事案が発生した際には、その都度終礼等で、出勤している職員が話し合い、話し合いの結果を記録し、翌日出勤する職員に対して不足なく情報伝達が出来るような体制を整えております。事務室内パソコン横の職員がすぐに確認ができる場所にファイルを保管しております。 |